

山口大学大学院創成科学研究科 教員公募

1. 募集人員：准教授（テニュアトラック）又は講師（テニュアトラック） 1名
2. 任期：5年
3. 着任時期：令和8年4月1日
4. 所属：山口大学 大学院創成科学研究科 工学系学域 知能情報工学分野
5. 学部担当学科：工学部 知能情報工学科
6. 専門分野：システム開発分野（フォーマルメソッド、モデル検査、信頼性評価、リアルタイムシステム、分散システム、耐故障・自己修復・高信頼システムの応用などに関連する分野）
7. 担当科目：(1) 知能情報工学関連の講義と演習（システム開発工程及び技法に関連する講義、最適化技法、数値計算に関連する講義、デジタルトランスフォーメーションに関連する講義と演習など）
(2) 共通教育科目
8. 応募資格：以下に掲げる条件をすべて満たす者
 - (1) 令和8年4月1日で博士の学位取得後10年以内（※1）または着任時までに見込みであること
 - (2) 採用内定後、「地方協奏による世界トップクラスの研究者育成」コンソーシアム（以下、「HIRAKU-Global」という。）が募集する「HIRAKU-Global プログラム選抜教員」に応募し、選考を受けること
HIRAKU-Global 事業の概要：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hiraku-g>
 - (3) 上記専門分野において研究実績を有すること
 - (4) 上記の科目及び学部の基礎教育を担当可能であること
 - (5) 国際的な教育・研究活動に熱意があること
 - (6) 教育研究や国際交流に必要な語学力を有すること
 - (7) 教育研究に十分な日本語または英語能力を有すること
ただし、日本語能力が不十分な場合は、任期終了までに教育研究に十分な日本語能力の習得が求められる。※1 産前・産後休暇および育児休暇を取得した方は、その取得期間について10年を越えることが可能
9. 待遇：給与等雇用条件は、本学の規則による。年俸制を適用する。
10. 研究資金：①スタートアップ資金として、5ヶ年度で総額500万円配分する。各年度の配分額は、テニュアトラック教員の意向を踏まえて決定される。
②HIRAKU-Global プログラム選抜教員に決定した場合は、①のスタートアップ資金に加えて、以下の経費を配分する。
 - ・研究基盤経費を初年度及び2年度目に各100万円
 - ・海外機関との共同研究経費を初年度に50万円、2年度目100万円、3年度目に50万円（年度間で配分額の調整可能）
11. テニュア付与審査：3年目に中間評価を行い、任期満了6ヶ月前までにテニュア審査を行う。審査に合格した場合、任期を付さない教員（准教授又は講師）となる。
12. 応募締切：令和7年4月30日（必着）
13. 提出書類：(1) 履歴書（写真貼付、現住所、生年月日、学歴、職歴、連絡先、電子メールアドレス等を記載のこと）
(2) 研究業績リスト（年代順に、学術論文、国際会議論文、所属学会、著書、解説、その他の研究発表、特許等のリスト。共著者名は全て記入し、論文は査読の有無により分けること）
(3) その他の参考となる情報（教育、外部資金の獲得状況、所属学会、受賞、学会や社

会における活動等)

- (4) 着任後の教育及び研究についての抱負(1,000字程度)
- (5) 意見を伺える方2名の氏名と所属及び連絡先(電話番号、電子メールアドレス)
- (6) 主要論文別刷(5編以内、コピー可)

14. 選考方法：書類選考の後、面接(プレゼンテーションを含む)を行います。

なお、その際の旅費・宿泊費は、自己負担となります。

15. 書類送付先及び本件に関する照会先：

- (1) 応募書類は全て PDF ファイルにし、下記の連絡先 e-mail アドレス宛に送付すること。
- (2) メールの件名は「システム開発分野教員応募書類」としてください。
- (3) 応募書類ファイルは「13. 提出書類」の番号ごとに作成して送付すること。その際、PDF ファイル名の最初に「13. 提出書類」の番号を付けること。折り返し受理通知の e-mail を返信するので、必ず確認すること。

〒755-8611 山口県宇部市常盤台二丁目 16-1

山口大学工学部知能情報工学科

学科長 間普 真吾

e-mail: mabu@yamaguchi-u.ac.jp Tel: (0836)85-9519

16. その他：*過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記入願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。

*提出書類により取得する個人情報、採用者の選考及び任用等の手続きを行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用及び提供することはありません。

*山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。

*本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しています。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミィ学級 (吉田キャンパス)

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミィ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供を受けることができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、公認心理師の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索

山口大学 ダイバーシティ